

「データから見る長浜市の現状について」

◆長浜市の現状

【スライド3～5】

- ・ 長浜市の総人口は減少傾向にありますが、高齢者人口・割合は増加傾向です。
- ・ 平均自立期間(健康寿命)と平均余命の差が**介護を受けている期間**で、**男性が1.6歳、女性は3.6歳**となっています。健康寿命をなるべく伸ばすということは、この差を短くするという事です。

【スライド6～7】

- ・ 年代別の介護認定状況を表しています。60代、70代は介護を受けている人の割合は少ないですが、**85歳以上になると半数の人が要介護認定**を受けています。
- ・ 60代、70代は生活習慣病予防重症化予防、フレイル予防が大事になります。また、80歳以上になると生活習慣病の重症化予防と役割や社会参加、運動・口腔・栄養・認知機能の向上などでなるべく介護を受けずに元気になることが大事になります。

【スライド8～11】

- ・ 74歳までの要介護の原因疾患をみると、**脳血管疾患が30%**と一番割合が大きいです。脳梗塞や脳出血などの病気が原因の人が多いことがわかります
- ・ 75歳以上の要介護認定の原因をみると、**アルツハイマー型とその他の認知症で25%**と**筋骨格結合組織損傷で25%**を占めています。筋骨格結合組織とは骨折や関節疾患などのことです。
- ・ 要介護の原因疾患からみると、**脳血管疾患予防、筋骨格・結合組織疾患予防、認知症予防**やこれらの疾患があっても**重症化を予防**することが、介護予防の大事なポイントになってきます。

【スライド12～19】

- ・ 75歳以上の人の医療費をみると、**入院では骨折、脳梗塞、不整脈、狭心症、関節疾患、外来では高血圧症、糖尿病、慢性腎不全(透析あり)**、関節疾患、不整脈の医療費割合が高くなっています。また人工透析患者数や割合が高くなってきています。
- ・ 市の介護給付費は約99億円、75歳以上の医療給付費は約221億円となっています。
- ・ 医療給付費は、**全体の10%の高額者で約50%の医療費を消費**、介護給付費は、**全体の10%の高額者で約70%の介護費を消費**しています。**高額な医療費や介護費が必要になる前にいかに食い止めるか**が大切になります。

◆国の動き

【スライド20～22】

- ・ 国は、2040年をみすえ昨年「2040年を展望した社会保障・働き方改革本部」を開き、全世代型社会保障の構築に向けて「健康寿命延伸プラン」を作成しました。
- ・ 多様な就労・社会参加、健康寿命の延伸、医療福祉サービス改革の3つに整理し、特

に「健康寿命の延伸」では、健康寿命を 2040 年までに 2016 年時点比で 3 年以上延伸させ、75 歳以上にするという目標を掲げています。

- ・ 次世代を含めたすべての人の健やかな生活習慣形成、**疾病予防・重症化予防、介護予防・フレイル対策・認知症予防**の 3 分野を中心に取り組みを進める方向性が示されました。
- ・ ケアマネジャーのみなさんにも「疾病予防・重症化予防」「介護予防・フレイル対策・認知症予防」の分野の対策の大きな役割を担っていただいています。

◆今後の取り組み

【スライド 23~24】

- ・ ケアマネジャーのみなさんには枠で囲った部分、**健康状態が悪くなった高齢者が、介護サービス介護予防サービスを使ってなるべく悪化するのを遅らせる、今の力を維持する部分**を、自立をめざしたプラン作成や多職種連携による支援などで担っていただいているところです。
- ・ 長浜市の健康寿命の延伸に向けて、今後もより一層のご協力をお願いします。